

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公表番号】特表2009-537384(P2009-537384A)

【公表日】平成21年10月29日(2009.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-043

【出願番号】特願2009-511134(P2009-511134)

【国際特許分類】

B 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

B 6 1 L 27/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

列車の性能を改善する方法において、

a) 列車に含まれる少なくとも 1 つの軌道車の軌道車パラメータを測定し、

b) 前記列車の少なくとも 1 つの運行基準に従い、前記軌道車パラメータに基づいて列車走行計画を生成する

ことを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記軌道車パラメータは、重量、軸荷重、摩擦、風の抵抗、車軸荷重、垂直荷重、および水平荷重のうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の方法において、前記列車の速度対燃料消費および排気出力のうちの少なくとも 1 つを少なくとも 1 つの軌道車パラメータに基づいて最適化することをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法において、軌道車パラメータデータを遠隔中央データベースに伝達することをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法において、前記遠隔中央データベースとの通信を保護することをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の方法において、動力分散型列車および動力非分散型列車のうちの少なくとも 1 つの操作性能を前記軌道車パラメータに基づいて最適化することをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の方法において、前記列車を前記作成した走行計画に基づいて運行することをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 8】

列車の性能を改善するプロセッサ用のコンピュータソフトウェアコードにおいて、

- a) 前記列車の少なくとも 1 つの軌道車の軌道車パラメータを測定するコンピュータソフトウェアモジュールと、
 - b) 前記列車の少なくとも 1 つの運行基準に従い、前記軌道車パラメータに基づいて列車走行計画を生成するコンピュータソフトウェアモジュールと、
- を備えることを特徴とするコンピュータソフトウェアコード。

【請求項 9】

軌道車パラメータを測定することにより列車の性能を改善するシステムにおいて、

- a) 軌道車パラメータ測定システムと、
- b) 中央制御装置と、
- c) 前記測定システムと前記中央制御装置間の通信を可能にする通信ネットワークと、を備え、
- d) 軌道車パラメータの測定および前記中央制御装置への提供を行って、前記列車の全軌道車に対する列車編成プロファイルおよび列車の任務に応じた走行計画のうちの少なくとも 1 つを前記軌道車パラメータに基づいて決定することを特徴とするシステム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、遠隔データベースを更に備え、前記遠隔データベースは、複数の軌道車の軌道車パラメータデータを備えることを特徴とするシステム。